

INFORMATION

No. 30031

2018年11月15日

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当検査センターにおきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

【実施日】 2018年11月12日(月) 受付分より

【新規項目内容一覧】

| 手びき掲載頁 | 項目コード | 検査項目 | 容器 | 検体量 | 報告日数 | 実施料 判断料 | 検査方法 | 基準値 (単位) |
|--------|------------|--------------------------------------|--------------------|-----------------------|------|------------|------|-------------|
| 未掲載 | なし (特伝) | マイクロサテライト 不安定性 (MSI) 検査 (FF) | 54 滅菌 スピッツ | 組織 50mg | 5~9 | なし | PCR | なし |
| 未掲載 | なし (特伝) | マイクロサテライト 不安定性 (MSI) 検査 (FFPE) | ガゼットケース スライドグラス | 未染標本 スライド 5~10枚 | 5~9 | なし | PCR | なし |

※検査要項につきましては裏面をご参照ください。



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

● マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (FF)

近年、開発や臨床応用が進んでいる免疫チェックポイント阻害剤が、ミスマッチ修復異常や高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する固形癌患者に対して高い奏効率を示すことが数多く報告されており、治療効果を予測するバイオマーカーとして、マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査が注目されています。

▼疾患との関連

結腸・直腸がん、胃がん、膵臓がん、前立腺がん、乳がんをはじめとする固形腫瘍

▼検査要項

| 検査項目 | マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (FF) |
|-----------|--|
| 項目コード | なし (特伝) |
| 検体量 | 組織 50mg |
| 容器 | 54 滅菌スピッツ |
| 保存方法 | 必ず凍結保存してください |
| 報告日数 | 5~9日 |
| 検査方法 | PCR |
| 基準値 | なし |
| 検査実施料/判断料 | なし |
| 備考 | 重 5種類のマーカ (BAT25、BAT26、NR21、NR24、MONO27) について解析し判定致します。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 |

●留意事項

生検材料 (新鮮凍結組織) は、検体が微量であることが多く組織自体がほとんど消失している場合や、腫瘍細胞が含まれていない組織片になっている可能性がありますので、あらかじめご注意願います。

▼参考文献

Buhand O, et al. : J Clin Oncol. 24(2): 241-251, 2006. (検査方法参考文献)

Dung T. Le, et al. : N Engl J Med 372: 2509-2520, 2015. (臨床的意義参考文献)

● マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (FFPE)

近年、開発や臨床応用が進んでいる免疫チェックポイント阻害剤が、ミスマッチ修復異常や高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する固形癌患者に対して高い奏効率を示すことが数多く報告されており、治療効果を予測するバイオマーカーとして、マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査が注目されています。

▼疾患との関連

結腸・直腸がん、胃がん、膵臓がん、前立腺がん、乳がんをはじめとする固形腫瘍

▼検査要項

| 検査項目 | マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (FFPE) |
|-----------|--|
| 項目コード | なし (特伝) i |
| 検体量 | 未染標本スライド5~10枚 |
| 容器 | オブジェクトケース スライドグラス |
| 保存方法 | 室温保存してください |
| 報告日数 | 5~9日 |
| 検査方法 | PCR |
| 基準値 | なし |
| 検査実施料/判断料 | なし |
| 備考 | 重 5種類のマーカー (BAT25、BAT26、NR21、NR24、MONO27) について解析し判定致します。他項目との重複依頼は避けてください。 |

●未染標本スライドの提出に際して

ご提出の際には、ホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより厚さ5 μ mにて連続切片を作製ください。作製した未染スライドは、HE染色標本により腫瘍細胞が含有されていることを確認のうえ、腫瘍が認められた部位へ必ずマーキングをお願いします (含有されている腫瘍は50%以上を推奨します)。マーキングされた未染標本スライドはオブジェクトケースに入れ室温保存にてご提出ください。マーキングされていない未染スライドのまま提出されますと、偽陰性など判定結果に影響を及ぼす可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、病理検査材料は、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては解析不可能となることがあります。可能な限り3年以内に採取したサンプルをご提出ください。特に生検材料は検体が微量であることが多く、パラフィン切片上の組織片自体が僅少である場合や、腫瘍細胞が含まれていない可能性がありますので、あらかじめご注意願います。

▼参考文献

Buhand O, et al. J Clin Oncol. 24(2): 241-251, 2006. (検査方法参考文献)

Dung T. Le, et al. N Engl J Med 372: 2509-2520, 2015. (臨床的意義参考文献)